

団体間で協働化できる取組（案）【人材育成分野】

1. 背景

- 産業の成長のためには、産業界を中心とした地域全体による戦略的な人材育成が必要である。
- 技術者や技能者などの育成に関する取組については、これまで様々な団体で実施されているが、ものづくり産業の競争力の維持・強化のためには、従業員の育成に限らず、中小ものづくり企業の、特に次代の経営幹部人材の育成が地域産業基盤の形成上不可欠である。

2. 事業概要

ものづくりを支える団体間の連携により、次世代を担う経営幹部人材の経営能力の向上を図るとともに、人的ネットワークの形成を支援し、最終製品メーカー等に対する取引開始・拡大を図る。

- 対象業種は、高度電子機械産業（半導体関連産業）、自動車関連産業を想定し、対象業種の県内中小企業において次代を担う経営幹部を募集。
- メインアドバイザーを中心とした参加者間の交流促進事業等のグループ活動を一定期間同一メンバーで実施。
- グループ活動内容の例としては、技術経営セミナー、生産管理方式セミナー、業界の技術・市場動向研修、他社の商品分析、先進企業・参加企業間訪問等。

3. 今後の進め方

今後、関係団体、市町村、県庁内関係課などと協議を進め、事業費を含めた事業内容を更に検討、具体化していく。

4. 効果

- 参加者が、経営幹部人材に必要な「経験」と「知恵」を体得し、「人的ネットワーク」を形成。
- 参加者が、新たな視点と、新たな人的ネットワークによりアライアンス戦略を明確にすることで、産産連携など具体的な取組に着手、新事業創出が図られる。